

大里小だより

12月号

令和4年11月30日

大里小・人権学習交流会（11/22）

低学年の部・高学年の部合わせて、のべ110人の方がご参観くださいました。そして、子どもたちの発表に対して、多くの方に感想を述べていただきました。子どもたちは大喜びでした。子どもたちの励みになったとともに、おとなも人権を大切に考えていることが伝わり、子どもたちの力になりました。みなさま、ありがとうございました。

ご都合により子どもたちの発表をご覧になれなかった方は、この記事을参考にご子どもから話を聞き、ご家庭でお話をしていただけると幸いです。

アンケート用紙でいただいた感想

- *子どもたちが人権学習を通して、ダメなことはダメと言い合える関係になっていけることを期待しています。
- *良いことも仲間みんなで共有できると、さらにいいですね。
- *相手の立場になって考えるということを、「普段から考えようね」と家族で話しています。
- *相手のことも自分のことも考えることができれば素敵です。
- *どの学年も、友達のことを思いながら考えて練習してきたことが伝わってきました。



- *1・2年生。緊張の中しっかり発表ができました。「自分を知る・相手を知る」ことは認め合うこと。その学びが、今日の発表という場面で生かされていたと思います。
- *3年生。日々の気づきの中から自分のことや相手のことを知り、「ちがうことが楽しかった」という気持ちを大切に、思いやりの気持ちを育ててほしいと思います。
- *4年生。私達があたり前にできることが、あたり前ではないことを学び、人の心や痛みがわかる人になってほしいと思います。
- *5年生。子どもの権利について、おとながもっと理解し、勉強していきたいです。子どもたちなりに日々に置き換えた劇が、とてもわかりやすかったです。
- *6年生。堂々としていて立派な発表でした。これからも人権の学びを深めていって欲しいと思いました。

1年生 《ともだち だいすき》

「お話ししましょう」（9月の学校公開日の授業）で、友達のことがいろいろわかって楽しかったこと、違いもいっぱいあっておもしろかったこと、もっともっと友達のことを知りたくなったこと。そして、今回みんなで「ふわふわ言葉、ちくちく言葉」のことを考え、「言葉には不思議な力がある」と気づいたこと。だから、大好きな友達ともっと仲良くなるためにどうするのかを発表してくれました。手話を交えて歌も歌いました。



2年生 《かがやけ自分～ぼくも わたしも たからもの～》

「自分や友達の素敵ところを探す」中心の取組として、一人ひとりの名前に込められた家族の願いを調べました。そして「大切な贈り物をありがとう」と、発表してくれました。これからも仲良く過ごせる2年生であるために、いろいろな取り組みをして、自分や友達の素敵ところを探し続けてほしいと思います。



3年生 《みんなが安心、みんなで安心》

「みんなが安心して過ごせるように、生活を振り返ってみてほしい。こんなことはありませんでしたか？」と、目の前にいる1・2年生に投げかけて始まりました。そして、「自分が好きなことを悪く言われたこと」「見た目のことで嫌なことを言われたこと」「自分の名前を変な言い方にされたこと」を寸劇にして紹介しました。最後に、「悲しい思いをする人をなくしていこう」と呼びかけました。

「それは友達の素敵ところなのに悪く言うなんて!」「大切な贈り物の名前をいじるなんて!」「それはちくちく言葉じゃないか!」と、1・2年生は自分たちの発表と重ねて考えたことだろうと思います。





4年生《あたり前って何?》

自分たちの身の回りにある「あたり前」について考えました。

学校へ通えること、水道からきれいな水が出ることは、日本ではあたり前ですが、世界に目を向けるとそうではないと、広い視野を提供しました。見た目では助けを必要としていることが分からないけど、助けを必要としている人はいるということを、聴覚障がいのある人やヘルプマークを身につけている人のことを例に寸劇やクイズで紹介しました。

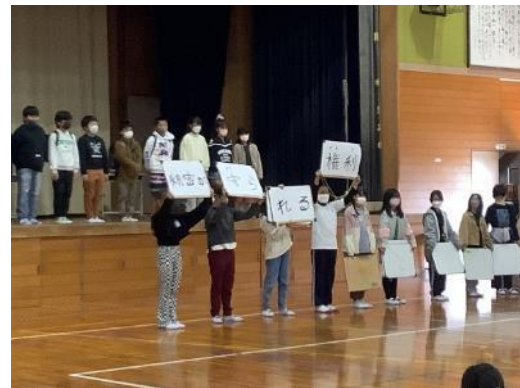
最後に「自分のあたり前が、他の人のあたり前じゃないことに気づいた」と締めくくりました。人に関心を持ち、コミュニケーションをとり、確かめる。そんな行動があたり前になってほしいと思います。

5年生《自分たちで守る、わたしの権利》

「子どもの権利条約」について学び、子どもも様々な権利を持っていることを紹介しました。そして、「自分たちにはこれらの権利が守られているのか」考え合い、見つけた3つの課題を寸劇にして発表しました。それは、①秘密が守られる権利②自由に意見や気持ちを言える権利③すべての人が差別されない権利です。

みんなが笑顔で協力し合えるクラスになるために、「ダメなことはダメと言える勇気」が大切だとまとめました。

この取組を通して、きっとクラスは変わってきて、今後も変わっていくことでしょう。その力を、社会や、より広く世界に目を向けたときにも生かして行ってほしいと思います。



6年生《自分、友達～友達の思いを受けとめる～》

6年生は人権学習のゲストティーチャーから、「子どもの頃、着ぐるみを着て本当の自分の姿を隠すように生活をしていて、とても苦しかった。しかし、自分のことを語ることができ、受け止めてくれる仲間（※友達とのつながり）ができたことで、ありのままの自分でいられるようになって解放された。」「周

豊里中学校区人権フェスティバル (11/5)

各小学校6年生が人権について真剣に学んでいること、中学校の「スマイルカンパニー」という人権サークルがこの学びを受け止め、中学校で結集してさらに力を発揮できるつながりがあることが分かってもらえたと思います。また、人権フェスティバルは、おとなも人権について考え学べる場であるようにと開催しています。



サッカーのワールドカップ・カタール大会が開催されています。日本が初戦で優勝候補とされているドイツに勝利し、世界のニュースになりました。一方で、カタールには人権課題があるとして、フランスでは多くのパブリック・ビューイングが中止されたとか、ドイツではスポーツ・バーが試合を放映しないことを決めたとか、反差別のキャプテンマークの使用をヨーロッパの7代表が決めていたことなどがニュースになっていました。

人権に対する世論、日本との温度差を感じるのですが、みなさんはどうですか？